

Vol.23 「健康経営」を始めませんか



従業員の健康維持・増進を「健康経営」をご存じでしょうか。今回はその説明と、中国労働衛生協会で行っております健康経営の支援事業について紹介したいと思います。健康経営とは「従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する経営手法」のことです。ここでは、従業員の健康の維持・増進や職場環境整備などの取り組みにかかる支出を、コストではなく投資として捉えます。簡単に言えば、従業員が生き生きと働ける環境をつくることです。健康経営は、経済産業省を中心に国策として進められており、その背景には、急速に進む少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による人手不足と、従業員の高齢化による医療費の増加があります。その解決策として2013

年に「日本再興戦略」が閣議決定され、「国民の健康寿命の延伸」と「医療費適正化」の二本柱として、保険者中心で行う「データヘルス計画」と、企業中心で行う「健康経営」が定められました。そして、健康経営に対する投資である「健康投資」へのインセンティブとして、「健康経営に取り組み優れた企業が社会で評価される枠組みを構築する」目的で、15年3月から経済産業省により東京証券取引所の上場企業の中から「健康経営銘柄」が選定されるようになりました。

同年7月、経済産業省・厚生労働省の協力を得て、経済団体、保険者、自治体、医療関係団体などの民間団体が連携して「健康宣言事業」と「健康経営優良法人認定制度」を主たる事業とする「日本健康会議」が発足しました。健康経営の効果は次の通りです。経営者にとっては、①組織が活性化することにより労働生産性が向上する②医療費の適正化や保険料の抑制が可能になり、コストが削減できる③企業のブランドイメージが向上する。特に③は人材確保上も有利です。

従業員にとっては、①健康状態が改善し病気になるにくくなる②柔軟な働き方と適切なワークライフバランスが実現でき③それらにより幸福感が醸成される。健康経営を実践していることへの国のお墨付きが、前述の「健康経営優良法人認定」です。健康経営優良法人には大規模法人部門と中小規模法人部門があり、毎年の認定に申請して条件を満たせば認定されます。当協会も、大規模法人部門の全国で上位五〇〇位以内を指す「ホワイト500」に認定されています。当協会はもともと健康経営と関係が深い産業保健を業務としており、医師・保健師・管理栄養士・ヘルスケアトレーナー・公認心理師など健康推進の専門家が多数在籍し、オールラウンドな支援が可能です。その多くは健康経営推進の専門資格である「健康経営エキスパートアドバイザー」を取得しています。健康経営の実践は時代の要求です。今後、健康経営優良法人認定はさらに重要視されると予測されます。当協会は備後地域の企業の健康経営推進と、健康経営優良法人認定のお手伝いをするべく、支援事業を開始しています。ぜひご相談ください。



公益財団法人中国労働衛生協会
理事長
宮田 明

1974年岡山大学医学部卒。医学博士。公立学校共済組合中国中央病院血液内科部長・副院長、尾道市立市民病院院長などを経て2015年より現職。日本血液学会専門医指導医、日本禁煙学会認定専門医など。現在は健康診断、保健指導・健康教育、社会貢献事業などを行う公益財団法人の理事長。座右の銘は「待てば海路の日和あり」「降りやまない雨はない」。

健康経営に取り組んでみませんか?

中国労働衛生協会がお手伝いします

WEBから
問い合わせも可能です!→



健康診断から特定保健指導、各種セミナー、運動指導、健康経営優良法人取得支援まで、一貫してさまざまな「健康経営」の支援を健康の専門家*がサポートします。

*医師・保健師・管理栄養士・ヘルスケアトレーナー(健康経営エキスパートアドバイザー)たち
大切な従業員の健康を守ってこそ、経営が安定し、明るい未来が拓けます

公益財団法人
中国労働衛生協会
福山市引野町5-14-2 ☎084-941-8211
https://churou-wp.sub.jp

当協会は、健康経営優良法人2022 大規模法人部門「ホワイト500」として認定されています